



山は二日目の午前中は風も静かで気持ち良く晴れ、青空の下に真っ白な雪が綿綿と続いていた。朝の気温はマイナス10度、昨夜の雪も途中でやんで夜中にオリオン座が大きく見えて美しかった。今日の斜面の雪はキュッキュッと心地よく締まりアイゼンもよく利いて楽しく歩いてきた。

下山後、駅前の飲み屋でつまみを頼んでコップにビールを注ぐや否や、携帯が鳴って、出てみたらネパールのピータンバレで、「昨日日本に来ました。」という電話。今度の土曜こうちの事務所知ってるのが集まるから昼飯でも食おうということ

になる。ついでに秋葉原あたりで遊ぶ事にする。その週は、もうイギリスへ帰る日が近くなったスミ子さんと何人かで飲んだばかり、その数日前は、近所の家に研修で来ていた中国系インドネシアの若者と飲んだ。なんだか遊んでばかりで申し訳ない気がするがしかたがないのだ。

ピータンバレはアンナプルナー一周の写真データを持ってきてうらやましながら、こっちはバングラで作っている便所の資料やムービーのデータを渡して、説明し、ネパールでも作るようにと言いき、彼はなんだかわからずにゴージャスな定食を食べていたが、うまいと思えたのかどうか。イギリス組は来年彼氏が一人でメキシコから。カナダまでの山の縦走を狙っていて、うれしそうに準備している様子を聞く。まあ、奥さんは半年ほど留守番で不満顔であった。インドネシアの青年は大いに飲んで騒いでいたが、「インドネシアの華僑の方たちの価値観はやっぱり稼ぐ事が第一だろうと見るのが世界標準の見方であろう。」という問いに対して、「それは今は変わりつつあって、家庭内のふれあいや暮らしを豊かなものにする事の方が大切だと思っている。」と力説していた。みんなそれぞれに元気良く集って散っていった。

さて今度はこっちがバングラへ行く日が近くなってきた。生活に不安がないければ気持ちよく出かけられるが、それでもなごろ度り状態が続いているために、どうも落ち着かない。

まあ、いろいろ困った事は多いが、仕方がないんだろうなと思う。どんなに困っても、たった10年20年後にはめでたく人生の上がりとなって、なんの不安も困ることもない世界へ旅立っていけるのだから、うまく出来ているのだ。

いつどうなるかなんてわからないのだから、生きていけるうちに出来る事はやっておこうと言う気になったもので、ブログにも前に作っていた絵本を少しずつ載せ始めました。この間、ためしに携帯でブログのアドレスを打てたら、ちゃんと携帯でも見えたのでビックリ。われながら世の中は恐ろしい仕組みになっていると実感しました。

ブログのアドレスです

<http://blog.goo.ne.jp/gnomesjp/>

<http://www.interq.or.jp/japan/gnomes/gnomes1>

TEL/FAX 03 5600 0195 高村 哲 GnomesJpn@aol.com